

平成24年5月27日
今週のベストショット



雁レク7番球場 ブルーマーリンズ 対 三友クラブ戦
未だ勝ち星のないチーム同士の熱戦。

四回表、無死満塁のピンチを三振、三振、投ゴロで切り抜ける三友クラブ足達ー谷崎バッテリー。

(写真：奈多サンデーズ 八島久徳)

中堅手の後方30mの位置より40倍ビデオカメラにて撮影。

プロ野球中継と同じ視線で楽しめるのではないのでしょうか？

雁レク7番球場

ブルーマーリンズ	(0勝4敗)	0 2 0 0 0 0	2	綱脇●、林ー尾田
三友クラブ	(1勝4敗)	1 0 2 0 0 X	3	福山、足達○ー谷崎

HR、3BH、2BH：なし

開幕から未だ勝ち星のない両チームの対戦は、初回を無失点に抑えた三友クラブはその裏、先頭の大坪選手が相手エラーで二塁まで進み、三盗して2番入口選手のショートゴロの間に生還する。二回表ブルーマーリンズは5番綱脇選手が四球、6番小柳選手が右前で続き、7番阿部選手のバントを一塁手がエラーする間に同点に追いつくと、8番高田選手の内野ゴロの間に小柳選もが生還し逆転に成功する。三回裏三友クラブは1・2番が出塁すると、3番谷崎選手が値千金の中前逆転2点タイムリーを放ち、福山投手の後を受けた足達投手を援護。逆転を許したブルーマーリンズも若い林投手を投入して、これ以上の失点を許さない。五回表にブルーマーリンズは3四死球で無死満塁と願ってもないチャンス。しかし、ここで三友クラブ足達投手が自ら招いたピンチを2三振と投ゴロに打ち取る。最終回も無失点に抑え、三友クラブが今シーズン初白星を掴んだ。

(記事・写真：奈多サンデーズ 八島久徳)



試合前に両キャプテンのガッチリ握手。



三友クラブ先発の福山投手は初回を無失点に抑える。



Bマーリンズ先発の綱脇投手。一時はリードするものの・・・。



一回裏、三盗を決める三友クラブ1番大坪選手。



二回表、小柳監督自らライト前を放ちチャンスメイク。



続く7番阿部選手のバント処理をミスリ同点となる。



三回裏、三友クラブ3番谷崎選手の逆転2点タイムリー。



ファールフライに懸命に飛びつく尾田捕手。



無死満塁のピンチを三振で切り抜ける足達投手。



今季初勝利を呼び込んだ三友クラブ谷崎興一郎選手。

雁レク6番球場

塩浜ジャガーズ (3勝1敗) 1 2 0 3 4 10 内田○—竹尾
 奈多クラブ (1勝3敗) 1 0 0 2 2 5 吉田●—今林(卓)
HR: 今林(祐) (奈多ク) **2BH**: 稲富(塩浜ジ) 吉田(奈多ク)

猛打賞!! 5打点!! 3番立石!!

初回到1点を取り合った両チーム。二回表ジャガーズの攻撃、一死一二塁から送りバントを決め二死二三塁。ここで迎えるバッターは、先制のタイムリーを放った3番立石選手。大事なこの場面でも、チームの期待に応える狙いすましたようなレフト前ヒットで再びリードを奪う。さらにジャガーズは、四回表、五回表と、攻撃の手を緩めず5点を追加し、勝利をグッと引き寄せる。対する奈多クラブも、今林(祐)選手の2ランHRなどで反撃するが逆転には届かなかった。(雁の巣ライナーズ 記事: 池内礼信 写真: 樽野拓也・鳥越康介)



奈多クラブ先発 吉田投手。



一回表、先制のホームイン ジャガーズ稲富選手。



塩浜ジャガーズ先発 内田投手。



一回裏、同点のホームイン奈多クラブ今林(卓)選手。



猛打賞&5打点の活躍！ジャガーズ立石選手。

青松園B

三苦三球会 (2勝2分) 2 1 4 1 2 4 1 4 吉留○ー藤澤
 レッドサンデーズ (1勝3敗) 0 1 0 0 0 0 1 土師●、土田ー三船
HR：藤澤 (三球会) **2BH**：原口 (三球会) 土師 (レッド)

一回表三球会は1番藤澤選手が左中間へ弾丸ライナーの先頭打者本塁打を放ち先制。三回表には4安打を集中させ4点を追加するなど15安打、毎回得点の14点を挙げ大勝した。レッドサンデーズは二回裏に8番田浦選手の内野安打で1点を返すも、尻上がりに調子を上げてきた三球会の吉留投手の前に散発4安打で敗れた。この試合では三球会の切れ目のない打線とエース吉留投手の変化球を交えた巧みなピッチングが光った試合となった。

(記事：奈多フェニックス 今林文彦、写真：西藤圭介)



切れ目のない三球会打線に加わった右山健太郎選手 (21歳)。



先頭打者HRを放つ藤澤選手は各チームの脅威だ。



巧みなピッチングでレッドを抑える三球会エース吉留投手。

青松園 A

新町パイレーツ (3勝2敗) 2017 10 吉田○-桐島

新町ウインズ (3敗1分) 3000 3 早田●、城戸-今林 (孝)

HR、3BH、2BH: なし

同門対決!パイレーツが制す!

初回、パイレーツ先頭の牟田選手の何でもないゴロをウインズ泉遊撃手がエラー、3番石橋選手がライト前でつないで一三塁、4番白岩選手の外野飛球をレフト松岡選手が痛恨のエラーで先制点を献上。更に二死二三塁から6番川田選手のレフト前で2点目。守備から戻る野手にウインズ久保田監督から「キャッチボールさえも出来ないぞ!なんとか取り返して来い!」と激を飛ばされ、1番桐島選手はレフト前、2番松岡選手はセカンド内野安打、3番今林(孝)選手が手堅く送って、4番城戸選手がレフト前2点タイムリーヒットですぐに同点に追いつき、一死三塁から五番DH野中選手がレフトへの犠牲フライで逆転!!二回は両チームとも無得点で終えたが、三回表、先頭の田中(新)選手をストレートの四球で出すと、犠打とエラーで三進を許し、今林(孝)捕手の返球が暴投となり、また得点を献上して同点。四回表、早田投手が自らの四球で崩れ出すと、打者一巡の猛攻を受け、終わってみれば10対3でパイレーツが勝利した。ウインズは守備の強化が勝利への近道だと思われた試合だった。(記事: ホーネッツ 堺厳生、写真: ミスター永島)



初回ウインズのタイムリーエラー。課題がここに。



一回裏、ウインズ4番城戸選手の同点タイムリー。



二回以降立ち直ったパイレーツ吉田投手。



四回表、勝ち越しタイムリーを放つパイレーツ白岩選手。

第7週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

5月27日は晴天の下、4試合が行われました。和白中学の体育祭も行われたため、ソフトボールが終わって駆け付けた方も多数いたと思います。

雁レク7番球場のブルーマーリンズ対三友クラブ戦は、未だ勝ち星のないチーム同士の対戦で、どちらが先に抜け出すかに注目が集まりました。両チーム主戦投手の先発ではありませんでしたが、ロースコアな展開に。1点リードで迎えた五回表に三友クラブ足立投手が3四球で無死満塁とするも自ら尻拭い、キッチリ後を締めました。バッテリーを組む谷崎捕手が値千金の2点タイムリーで3-2として初勝利をもたらしました。この試合で私が撮った中堅手の30m(ホームから7~80m)後方から40倍ズームで写した写真を「今週のベストショット」にしましたが、以前似たような写真が運営会議で議題になりました。二塁塁審が撮った写真でした。これは審判が撮るのはマズイということで禁止になりましたが、今回は両チーム、主審とも気にならなかったというご意見をもらいました。が、一応フェアゾーンなので6月の運営会議にかけます。私としてはカメラの性能によりますが、捕手、打者、主審の表情が見られるし、プロ野球中継と同じ視線で面白いと思いますがいかがでしょうか？打席で自分の正面からの写真を見てみたくないですか？

雁レク6番球場の塩浜ジャガーズ対奈多クラブ戦は、終始リードを保ったジャガーズが10-5で勝利しました。ジャガーズは1~3番打者が揃って3安打ずつ放ち、今シーズンの好調さを示しています。下位打線から上位打線へのつながりが大量得点につながりますね。

青松園Bの三苦三球会对レッドサンデーズ戦は、三球会藤澤選手の先頭打者HRをはじめ15安打で14-1とレッドを圧倒。15安打中13本は単打とつながりの良さが伺えます。4安打に抑えられたレッドは開幕で勝利して次の勝利に苦労しています。

青松園Aの新町パイレーツ対新町ウインズ戦の同門対決は、10-3と大量点でパイレーツが勝ったのですが、パイレーツは5安打のみ。ウインズは8四死球とエラーが10失点につながったようですね。初回到失点してすぐ逆転してただけに勿体無い試合でした。

次回から6月に突入します。梅雨の時期も近いですから体調管理と週末の天気を気にかけていきましょう。

6月3日は4試合です。

	一塁側		三塁側		審判
青松園A	新町ウインズ	対	三苦ホーネッツ		レッドサンデーズ
青松園B	奈多フェニックス	対	塩浜ジャガーズ		ブルーマーリンズ
雁レク4	奈多サンデーズ	対	ソルトベイスターズ		三苦三球会
雁レク5	三苦フレンズ	対	雁ノ巣ライナーズ		奈多クラブ